

開講年度	令和3年度	開講期間	通年
科目名	整形外科科学		
担当教員	江口 昌充		
学年	2年	学科	作業・理学
単位数	4単位	時間数	60(30)時間
学習目標	臨床で多くみられる疾患を中心に、整形外科疾患の発生機序・診断・治療の基礎的な知識を理解する。また、運動器の理学療法の基盤となるようにそれぞれの疾患の知識を定着させる。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・骨、関節の構造、病態生理 2. 整形外科診断学(X線、MRI) 3. 外傷総論、組織の修復過程 4. 肩関節疾患① 5. 肩関節疾患② 6. 肩関節疾患③ 7. 肘関節疾患① 8. 肘関節疾患② 9. 肘関節疾患③ 10. 手関節疾患① 11. 手関節疾患② 12. 手関節疾患③ 13. 末梢神経障害(上肢①) 14. 末梢神経障害(上肢②) 15. 慢性関節疾患(退行性・代謝性) 		
教科書	『標準整形外科科学』【編】中村利孝（医学書院）		
参考書	『整形外科学テキスト』【著】高橋邦泰、芳賀信彦（南光堂） 『整形外科手術後療法ハンドブック』【著】片田重彦（南光堂） 『STEP整形外科(STEP Series)』【監】高橋正明（海馬書店）		
評価方法	筆記試験・出席状況		
備考	範囲が広いため、予習・復習を行ってください。		

開講年度	令和3年度	開講期間	通年
科目名	神経内科学		
担当教員	三吉 舞子		
学年	2年	学科	作業・理学
単位数	4単位	時間数	60(30)時間
学習目標	臨床で遭遇する神経疾患の原因・病態生理・神経症候・検査について学ぶ。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総論 2. 頭痛、てんかん① 3. 頭痛、てんかん② 4. 感染性疾患① 5. 感染性疾患② 6. 脱髄疾患① 7. 脱髄疾患② 8. 筋萎縮性側索硬化症① 9. 筋萎縮性側索硬化症② 10. パーキンソン病① 11. パーキンソン病② 12. 脊髄小脳変性症① 13. 脊髄小脳変性症② 14. 末梢神経障害 15. まとめ 		
教科書	『標準神経病学』【編】栗原照幸 他（医学書院）		
参考書	『理学療法テキスト神経障害理学療法学Ⅱ（15レクチャーシリーズ）』【編】石川朗（中山書店） 『系統理学療法学 神経障害系理学療法学』【著】丸山仁司（医歯薬出版）		
評価方法	筆記試験		
備考			

開講年度	令和3年度	開講期間	前期
科目名	精神医学		
担当教員	遠藤 健一郎		
学年	2年	学科	作業・理学
単位数	2単位	時間数	30時間
学習目標	【疾患の分類と診断基準】、【精神障害における症状】、【補助診断】、【精神障害各論】、【精神科医療の法律】、【精神科包括治療】の六つの柱で構成される系統的な講義により、将来、精神科専門領域で仕事をすることは限らない理学療法学科や作業療法学科の学生が、臨床実践で必要とされる精神医学的な基礎知識を身につける。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 【疾患の分類と診断基準】、【精神障害における症状】精神症状① 2. 【精神障害における症状】精神症状② 3. 【精神障害における症状】精神状態および高次脳機能障害、【補助診断】 4. 【精神障害各論】症状性を含む器質性精神障害① 5. 【精神障害各論】症状性を含む器質性精神障害② 6. 【精神障害各論】精神作用物質による精神および行動の障害 7. 【精神障害各論】統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害 8. 【精神障害各論】気分(感情)障害 9. 【精神障害各論】神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害 10. 【精神障害各論】生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 11. 【精神障害各論】成人のパーソナリティおよび行動の障害 12. 【精神障害各論】ライフサイクルにおける精神医学① 13. 【精神障害各論】ライフサイクルにおける精神医学②、【精神科医療の法律】 14. 【精神科包括治療】身体的治療 15. 【精神科包括治療】心理社会的治療、リエゾン精神医学 		
教科書	『学生のための精神医学』 【著者】太田保之 (医歯薬出版)		
参考書			
評価方法	期末試験		
備考			

開講年度	令和3年度	開講期間	前期
科目名	臨床内科学		
担当教員	藤井 昌江		
学年	2年	学科	作業・理学
単位数	2単位	時間数	30時間
学習目標	病気の病因・経過・転帰について学ぶ		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第3章 症候学 2. 第12章 アレルギー疾患、膠原病と類縁疾患、免疫不全 3. 第13章 感染症 4. 第9章 代謝性疾患 5. 先天性異常と遺伝子異常 6. 腫瘍 7. 第4章 循環器疾患① 8. 循環器疾患② 9. 第5章 呼吸器疾患 10. 第6章 消化器疾患 11. 第7章 肝胆膵疾患 12. 第8章 血液・造血器疾患 13. 第10章 内分泌疾患 14. 第11章 腎・泌尿器疾患 15. 老化と死、その他 16. 栄養学概論 17. 薬理学概論 18. 救急救命法 		
教科書	『PTOT標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学』 【監】奈良勲 他（医学書院）		
参考書	『系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 疾病のなりたちと回復の促進1』【著】大橋健一（医学書院） 『PTOT基礎から学ぶ内科学ノート』【編】中島雅美 他（医歯薬出版） 『なるほどなっとく！病理学: 病態形成の基本的な仕組み』【著】小林正伸		
評価方法	期末試験		
備考			

開講年度	令和3年度	開講期間	通年																														
科目名	作業療法評価学 I																																
担当教員	滝川 忠喜 ・ 熊野 巴之																																
学年	2年	学科	作業																														
単位数	4単位	時間数	120(60)時間																														
学習目標	作業療法に必要な評価の目的、方法を学び、理解することを目標とする。																																
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション、形態計測</td> <td>16. ROM 頸部</td> </tr> <tr> <td>2. ROM ROMとは、肩甲帯</td> <td>17. ROM 体幹1</td> </tr> <tr> <td>3. ROM 肩1</td> <td>18. ROM 体幹2</td> </tr> <tr> <td>4. ROM 肩2</td> <td>19. ROM まとめ</td> </tr> <tr> <td>5. ROM 肘・前腕</td> <td>20. 実技試験</td> </tr> <tr> <td>6. ROM 手関節</td> <td>21. 知覚検査</td> </tr> <tr> <td>7. ROM まとめ</td> <td>22. 知覚検査</td> </tr> <tr> <td>8. 実技試験</td> <td>23. 知覚検査</td> </tr> <tr> <td>9. ROM 母指</td> <td>24. 協調性検査</td> </tr> <tr> <td>10. ROM 手指</td> <td>25. 協調性検査</td> </tr> <tr> <td>11. ROM 股関節</td> <td>26. 筋緊張検査</td> </tr> <tr> <td>12. ROM 股関節・膝関節</td> <td>27. 反射反応</td> </tr> <tr> <td>13. ROM 足関節・足部</td> <td>28. 反射反応</td> </tr> <tr> <td>14. ROM まとめ</td> <td>29. 反射反応</td> </tr> <tr> <td>15. 実技試験</td> <td>30. 脳神経検査</td> </tr> </table>			1. オリエンテーション、形態計測	16. ROM 頸部	2. ROM ROMとは、肩甲帯	17. ROM 体幹1	3. ROM 肩1	18. ROM 体幹2	4. ROM 肩2	19. ROM まとめ	5. ROM 肘・前腕	20. 実技試験	6. ROM 手関節	21. 知覚検査	7. ROM まとめ	22. 知覚検査	8. 実技試験	23. 知覚検査	9. ROM 母指	24. 協調性検査	10. ROM 手指	25. 協調性検査	11. ROM 股関節	26. 筋緊張検査	12. ROM 股関節・膝関節	27. 反射反応	13. ROM 足関節・足部	28. 反射反応	14. ROM まとめ	29. 反射反応	15. 実技試験	30. 脳神経検査
1. オリエンテーション、形態計測	16. ROM 頸部																																
2. ROM ROMとは、肩甲帯	17. ROM 体幹1																																
3. ROM 肩1	18. ROM 体幹2																																
4. ROM 肩2	19. ROM まとめ																																
5. ROM 肘・前腕	20. 実技試験																																
6. ROM 手関節	21. 知覚検査																																
7. ROM まとめ	22. 知覚検査																																
8. 実技試験	23. 知覚検査																																
9. ROM 母指	24. 協調性検査																																
10. ROM 手指	25. 協調性検査																																
11. ROM 股関節	26. 筋緊張検査																																
12. ROM 股関節・膝関節	27. 反射反応																																
13. ROM 足関節・足部	28. 反射反応																																
14. ROM まとめ	29. 反射反応																																
15. 実技試験	30. 脳神経検査																																
教科書	『標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学』【監】岩崎テル子 他（医学書院） 『ベットサイドの神経の診かた』【著】田崎義昭・斎藤佳雄（南山堂） 『運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢』【著】林典雄（メジカルビュー） 『新・徒手筋力検査法』【著】Helen J. Hislop（メジカルビュー） 『PT・OTビジュアルテキスト リハビリテーション基礎評価学』 【編】潮見泰藏・下田信明（羊土社）																																
参考書	随時紹介																																
評価方法	出席状況、授業態度、実技試験および筆記試験																																
備考	評価器具の購入(メジャー・打腱器・角度形(ゴニオメーター))																																

開講年度	令和3年度	開講期間	通年																																														
科目名	身体障害作業療法学 I																																																
担当教員	濱藤 春暉 ・ 熊野 巴之																																																
学年	2年	学科	作業																																														
単位数	5単位	時間数	150(90)時間																																														
学習目標	運動器疾患を治療するにあたり、骨・関節・筋の知識は必須である。 この講義では、人の身体に触れる・操作するという基本的な技術を学んだ後に各疾患の評価および治療を学ぶことで、臨床実習を円滑に行えるだけの知識を獲得する。																																																
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション、痛みの基礎知識①</td> <td>24. 末梢神経損傷の作業療法④</td> </tr> <tr> <td>2. 痛みの基礎知識②</td> <td>25. 末梢神経損傷の作業療法⑤</td> </tr> <tr> <td>3. 痛みが起こるしくみ(急性痛)</td> <td>26. 屈筋腱損傷の作業療法①</td> </tr> <tr> <td>4. 痛みが起こるしくみ(慢性痛)</td> <td>27. 屈筋腱損傷の作業療法②</td> </tr> <tr> <td>5. 痛みのリハビリテーション評価①</td> <td>28. 屈筋腱損傷の作業療法③</td> </tr> <tr> <td>6. 痛みのリハビリテーション評価②</td> <td>29. 屈筋腱損傷の作業療法④</td> </tr> <tr> <td>7. 痛みのリハビリテーション評価③</td> <td>30. まとめ、国家試験対策</td> </tr> <tr> <td>8. 痛みのリハビリテーション治療①</td> <td>31. オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>9. 痛みのリハビリテーション治療②</td> <td>32. 脳血管障害の作業療法:病態と治療</td> </tr> <tr> <td>10. 痛みのリハビリテーション治療③</td> <td>33. 脳血管障害の作業療法:病態と治療</td> </tr> <tr> <td>11. 肩関節周囲炎・腱板損傷の作業療法①</td> <td>34. 脳血管障害の作業療法:麻痺</td> </tr> <tr> <td>12. 肩関節周囲炎・腱板損傷の作業療法②</td> <td>35. 脳血管障害の作業療法:麻痺</td> </tr> <tr> <td>13. 肩関節周囲炎・腱板損傷の作業療法③</td> <td>36. 脳血管障害の作業療法:麻痺</td> </tr> <tr> <td>14. 肩関節周囲炎・腱板損傷の作業療法④</td> <td>37. 脳血管障害の作業療法:脳神経</td> </tr> <tr> <td>15. 骨折(上肢)の作業療法①</td> <td>38. 脳血管障害の作業療法:関節可動域</td> </tr> <tr> <td>16. 骨折(上肢)の作業療法②</td> <td>39. 脳血管障害の作業療法:筋力</td> </tr> <tr> <td>17. 骨折(上肢)の作業療法③</td> <td>40. 脳血管障害の作業療法:知覚再教育</td> </tr> <tr> <td>18. 骨折(上肢)の作業療法④</td> <td>41. 脳血管障害の作業療法:協調運動障害と失調</td> </tr> <tr> <td>19. 骨折(上肢)の作業療法⑤</td> <td>42. 脳血管障害の作業療法:画像の見方</td> </tr> <tr> <td>20. 骨折(上肢)の作業療法⑥</td> <td>43. 脳血管障害の作業療法:画像の見方</td> </tr> <tr> <td>21. 末梢神経損傷の作業療法①</td> <td>44. 脳血管障害の作業療法:高次脳機能障害</td> </tr> <tr> <td>22. 末梢神経損傷の作業療法②</td> <td>45. まとめ、国試対策</td> </tr> <tr> <td>23. 末梢神経損傷の作業療法③</td> <td></td> </tr> </table>			1. オリエンテーション、痛みの基礎知識①	24. 末梢神経損傷の作業療法④	2. 痛みの基礎知識②	25. 末梢神経損傷の作業療法⑤	3. 痛みが起こるしくみ(急性痛)	26. 屈筋腱損傷の作業療法①	4. 痛みが起こるしくみ(慢性痛)	27. 屈筋腱損傷の作業療法②	5. 痛みのリハビリテーション評価①	28. 屈筋腱損傷の作業療法③	6. 痛みのリハビリテーション評価②	29. 屈筋腱損傷の作業療法④	7. 痛みのリハビリテーション評価③	30. まとめ、国家試験対策	8. 痛みのリハビリテーション治療①	31. オリエンテーション	9. 痛みのリハビリテーション治療②	32. 脳血管障害の作業療法:病態と治療	10. 痛みのリハビリテーション治療③	33. 脳血管障害の作業療法:病態と治療	11. 肩関節周囲炎・腱板損傷の作業療法①	34. 脳血管障害の作業療法:麻痺	12. 肩関節周囲炎・腱板損傷の作業療法②	35. 脳血管障害の作業療法:麻痺	13. 肩関節周囲炎・腱板損傷の作業療法③	36. 脳血管障害の作業療法:麻痺	14. 肩関節周囲炎・腱板損傷の作業療法④	37. 脳血管障害の作業療法:脳神経	15. 骨折(上肢)の作業療法①	38. 脳血管障害の作業療法:関節可動域	16. 骨折(上肢)の作業療法②	39. 脳血管障害の作業療法:筋力	17. 骨折(上肢)の作業療法③	40. 脳血管障害の作業療法:知覚再教育	18. 骨折(上肢)の作業療法④	41. 脳血管障害の作業療法:協調運動障害と失調	19. 骨折(上肢)の作業療法⑤	42. 脳血管障害の作業療法:画像の見方	20. 骨折(上肢)の作業療法⑥	43. 脳血管障害の作業療法:画像の見方	21. 末梢神経損傷の作業療法①	44. 脳血管障害の作業療法:高次脳機能障害	22. 末梢神経損傷の作業療法②	45. まとめ、国試対策	23. 末梢神経損傷の作業療法③	
1. オリエンテーション、痛みの基礎知識①	24. 末梢神経損傷の作業療法④																																																
2. 痛みの基礎知識②	25. 末梢神経損傷の作業療法⑤																																																
3. 痛みが起こるしくみ(急性痛)	26. 屈筋腱損傷の作業療法①																																																
4. 痛みが起こるしくみ(慢性痛)	27. 屈筋腱損傷の作業療法②																																																
5. 痛みのリハビリテーション評価①	28. 屈筋腱損傷の作業療法③																																																
6. 痛みのリハビリテーション評価②	29. 屈筋腱損傷の作業療法④																																																
7. 痛みのリハビリテーション評価③	30. まとめ、国家試験対策																																																
8. 痛みのリハビリテーション治療①	31. オリエンテーション																																																
9. 痛みのリハビリテーション治療②	32. 脳血管障害の作業療法:病態と治療																																																
10. 痛みのリハビリテーション治療③	33. 脳血管障害の作業療法:病態と治療																																																
11. 肩関節周囲炎・腱板損傷の作業療法①	34. 脳血管障害の作業療法:麻痺																																																
12. 肩関節周囲炎・腱板損傷の作業療法②	35. 脳血管障害の作業療法:麻痺																																																
13. 肩関節周囲炎・腱板損傷の作業療法③	36. 脳血管障害の作業療法:麻痺																																																
14. 肩関節周囲炎・腱板損傷の作業療法④	37. 脳血管障害の作業療法:脳神経																																																
15. 骨折(上肢)の作業療法①	38. 脳血管障害の作業療法:関節可動域																																																
16. 骨折(上肢)の作業療法②	39. 脳血管障害の作業療法:筋力																																																
17. 骨折(上肢)の作業療法③	40. 脳血管障害の作業療法:知覚再教育																																																
18. 骨折(上肢)の作業療法④	41. 脳血管障害の作業療法:協調運動障害と失調																																																
19. 骨折(上肢)の作業療法⑤	42. 脳血管障害の作業療法:画像の見方																																																
20. 骨折(上肢)の作業療法⑥	43. 脳血管障害の作業療法:画像の見方																																																
21. 末梢神経損傷の作業療法①	44. 脳血管障害の作業療法:高次脳機能障害																																																
22. 末梢神経損傷の作業療法②	45. まとめ、国試対策																																																
23. 末梢神経損傷の作業療法③																																																	
教科書	『標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法』【編】岩崎テル子 (医学書院) 『標準作業療法学 専門分野 高次脳機能作業療法学』【著】能登真一 (医学書院) 『ビジュアル実践リハ 整形外科リハビリテーション』【監】神野哲 他 (羊土社)																																																
参考書	随時																																																
評価方法	出席状況、授業態度、試験																																																
備考																																																	

開講年度	令和3年度	開講期間	通年																														
科目名	発達障害作業療法																																
担当教員	中野 和代																																
学年	2年	学科	作業																														
単位数	4単位	時間数	120(60)時間																														
学習目標	<p>胎児期や出産時の問題で障がいを負った子に対して、適切な評価・治療を行うための基礎知識を学ぶ。</p> <p>① 正常発達の理解：月齢に従って運動および精神発達を経時的に理解する。 ② 国家試験に出題される発達スクリーニングテストを使用して発達評価ができるようになる。 ③ 原始反射と姿勢反射・反応について学習し、正常な運動発達について理解する。</p>																																
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション 発達障害を学ぶことの意味について</td> <td>16. オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2. 運動発達理論 小児理学療法学テキスト：P3～P14</td> <td>17. 正常発達分野(前期)の国家試験対策(1)</td> </tr> <tr> <td>3. 遠城寺式乳幼児分析的発達検査法および日本版テンパ-式発達スクリーニングテストによる正常発達の理解 P15～P34</td> <td>18. 正常発達分野(前期)の国家試験対策(2)</td> </tr> <tr> <td>4. 正常運動発達：小児理学療法学テキスト運動発達P15～P45 姿勢反射P46～P69</td> <td>19. 脳性麻痺の定義と最近の発達障害の傾向</td> </tr> <tr> <td>5. ① 新生児 (乳児の運動発達と反射反応：P1～P10)</td> <td>20. 脳性麻痺の原因と病理・脳性麻痺の分類</td> </tr> <tr> <td>6. ② 1～2ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P11～P33)</td> <td>21. 痙直型脳性麻痺 四肢麻痺(1)</td> </tr> <tr> <td>7. ③ 3ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P35～P51)</td> <td>22. 四肢麻痺(2)</td> </tr> <tr> <td>8. まとめと国家試験対策(1)</td> <td>23. 両麻痺(1)</td> </tr> <tr> <td>9. ④ 4ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P53～P92)</td> <td>24. 両麻痺(2)</td> </tr> <tr> <td>10. ⑤ 5ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P93～P131)</td> <td>25. 片麻痺</td> </tr> <tr> <td>11. ⑥ 6ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P133～P175)</td> <td>26. アテトーゼ型脳性麻痺(1)</td> </tr> <tr> <td>12. ⑦ 7～8ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P177～P222)</td> <td>27. アテトーゼ型脳性麻痺(2)</td> </tr> <tr> <td>13. ⑧ 9～10ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P223～P254)</td> <td>28. 脳性麻痺についての国家試験対策</td> </tr> <tr> <td>14. ⑨ 11～12ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P255～P283)</td> <td>29. 二分脊椎</td> </tr> <tr> <td>15. まとめと国家試験対策(2)</td> <td>30. まとめと国家試験対策</td> </tr> </table>			1. オリエンテーション 発達障害を学ぶことの意味について	16. オリエンテーション	2. 運動発達理論 小児理学療法学テキスト：P3～P14	17. 正常発達分野(前期)の国家試験対策(1)	3. 遠城寺式乳幼児分析的発達検査法および日本版テンパ-式発達スクリーニングテストによる正常発達の理解 P15～P34	18. 正常発達分野(前期)の国家試験対策(2)	4. 正常運動発達：小児理学療法学テキスト運動発達P15～P45 姿勢反射P46～P69	19. 脳性麻痺の定義と最近の発達障害の傾向	5. ① 新生児 (乳児の運動発達と反射反応：P1～P10)	20. 脳性麻痺の原因と病理・脳性麻痺の分類	6. ② 1～2ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P11～P33)	21. 痙直型脳性麻痺 四肢麻痺(1)	7. ③ 3ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P35～P51)	22. 四肢麻痺(2)	8. まとめと国家試験対策(1)	23. 両麻痺(1)	9. ④ 4ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P53～P92)	24. 両麻痺(2)	10. ⑤ 5ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P93～P131)	25. 片麻痺	11. ⑥ 6ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P133～P175)	26. アテトーゼ型脳性麻痺(1)	12. ⑦ 7～8ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P177～P222)	27. アテトーゼ型脳性麻痺(2)	13. ⑧ 9～10ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P223～P254)	28. 脳性麻痺についての国家試験対策	14. ⑨ 11～12ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P255～P283)	29. 二分脊椎	15. まとめと国家試験対策(2)	30. まとめと国家試験対策
1. オリエンテーション 発達障害を学ぶことの意味について	16. オリエンテーション																																
2. 運動発達理論 小児理学療法学テキスト：P3～P14	17. 正常発達分野(前期)の国家試験対策(1)																																
3. 遠城寺式乳幼児分析的発達検査法および日本版テンパ-式発達スクリーニングテストによる正常発達の理解 P15～P34	18. 正常発達分野(前期)の国家試験対策(2)																																
4. 正常運動発達：小児理学療法学テキスト運動発達P15～P45 姿勢反射P46～P69	19. 脳性麻痺の定義と最近の発達障害の傾向																																
5. ① 新生児 (乳児の運動発達と反射反応：P1～P10)	20. 脳性麻痺の原因と病理・脳性麻痺の分類																																
6. ② 1～2ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P11～P33)	21. 痙直型脳性麻痺 四肢麻痺(1)																																
7. ③ 3ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P35～P51)	22. 四肢麻痺(2)																																
8. まとめと国家試験対策(1)	23. 両麻痺(1)																																
9. ④ 4ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P53～P92)	24. 両麻痺(2)																																
10. ⑤ 5ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P93～P131)	25. 片麻痺																																
11. ⑥ 6ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P133～P175)	26. アテトーゼ型脳性麻痺(1)																																
12. ⑦ 7～8ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P177～P222)	27. アテトーゼ型脳性麻痺(2)																																
13. ⑧ 9～10ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P223～P254)	28. 脳性麻痺についての国家試験対策																																
14. ⑨ 11～12ヵ月 (乳児の運動発達と反射反応：P255～P283)	29. 二分脊椎																																
15. まとめと国家試験対策(2)	30. まとめと国家試験対策																																
教科書	『作業療法学ゴールドマスター・テキスト7 発達障害作業療法学』【著】神作一実(メジカルビュー) 『写真で見る 乳児の運動発達 生後10日から12ヶ月まで』【著】Lois Bly(協同医書出版) 『シンプル理学療法学シリーズ 小児理学療法学テキスト』【著】田原弘幸、大城昌平(南江堂)																																
参考書	『理学療法・作業療法のための神経生理学プログラム演習2 運動発達と反射 反射検査の手技と評価』 【著】Marylou R. Barnes, Carolyn A. Crutchfield, Carolyn B. Heriza (医歯薬出版)																																
評価方法	出席状況、課題への取り組み、期末試験により総合的に評価する。																																
備考	・運動発達、姿勢反射についてはイメージしにくいと思うが、正常な発達の経過を理解しておくことは小児疾患だけでなく、その他の疾患を持つ対象者を評価・治療する際に助けとなるため、運動器系の構造と機能I、脳神経系の構造と機能、解剖生理学の内容を確認しながら学習を進めよう。 ・単元毎に国家試験問題を配布する。授業の復習として家庭学習を行うこと。																																

開講年度	令和3年度	開講期間	通年
科目名	義肢・装具学		
担当教員	久保田 源		
学年	2年	学科	作業
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
学習目標	義肢装具の種類・特性等を理解すること。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 義肢装具概論 2. 体幹 装具 3. 下肢 装具 4. 義足 5. 小テスト 6. 上肢 装具 7. 上肢 装具 8. 上肢 装具 9. 上肢 装具 10. 小テスト 11. 義手 12. 義手 13. 義手 14. 義手 15. 義手 		
教科書	『義肢装具と作業療法 評価から実践まで』【著】大庭潤平 他（医歯薬出版）		
参考書			
評価方法	小テスト・筆記試験		
備考			

開講年度	令和3年度	開講期間	通年
科目名	臨床評価実習		
担当教員	滝川 忠喜		
学年	2年	学科	作業
単位数	4単位	時間数	60(30)時間
学習目標	<p>目標:臨床評価実習が円滑に行うことできる。 概要:臨床実習前教育学の復習を行う。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 統合と解釈 2. 演習① 3. 演習② 4. 演習③ 5. 演習④ 6. 演習⑤ 7. 演習⑥ 8. グループワーク① 9. グループワーク② 10. グループワーク③ 11. 症例報告① 12. 症例報告② 13. 症例報告③ 14. 症例報告④ 15. まとめ 		
教科書	臨床実習前教育学で配布されたプリント		
参考書	随時		
評価方法	発表による採点とする。		
備考			

開講年度	令和3年度	開講期間	通年																														
科目名	作業療法国家試験演習 I																																
担当教員	滝川 忠喜 ・ 熊野 巴之																																
学年	2年	学科	作業																														
単位数	4単位	時間数	120(60)時間																														
学習目標	作業療法に必要な評価の目的、方法を学び、理解することを目標とする。																																
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>16. 高次脳機能評価</td> </tr> <tr> <td>2. 意識・バイタルチェック等の評価</td> <td>17. 高次脳機能評価</td> </tr> <tr> <td>3. 反射検査</td> <td>18. 高次脳機能評価</td> </tr> <tr> <td>4. 脳神経検査</td> <td>19. 高次脳機能評価</td> </tr> <tr> <td>5. 上肢機能検査(STEF)</td> <td>20. 高次脳機能評価</td> </tr> <tr> <td>6. 上肢機能検査(MFT)</td> <td>21. 高次脳機能評価</td> </tr> <tr> <td>7. 脳血管障害の評価(ブルンストローム回復ステージ)</td> <td>22. 高次脳機能評価</td> </tr> <tr> <td>8. 脳血管障害の評価(SIAS)</td> <td>23. 高次脳機能評価</td> </tr> <tr> <td>9. カナダ作業遂行測定(COPM)</td> <td>24. ADL評価</td> </tr> <tr> <td>10. 運動及びプロセス技能評価(AMPS)</td> <td>25. ADL評価</td> </tr> <tr> <td>11. COGNISTAT認知機能検査</td> <td>26. ADL評価</td> </tr> <tr> <td>12. 職業レディネス・テスト</td> <td>27. ADL評価</td> </tr> <tr> <td>13. 職業能力適性検査(GATB)</td> <td>28. ADL評価</td> </tr> <tr> <td>14. 高齢期機能評価</td> <td>29. ADL評価</td> </tr> <tr> <td>15. 生活行為向上マネジメント(MTDLP)</td> <td>30. 国試対策</td> </tr> </table>			1. オリエンテーション	16. 高次脳機能評価	2. 意識・バイタルチェック等の評価	17. 高次脳機能評価	3. 反射検査	18. 高次脳機能評価	4. 脳神経検査	19. 高次脳機能評価	5. 上肢機能検査(STEF)	20. 高次脳機能評価	6. 上肢機能検査(MFT)	21. 高次脳機能評価	7. 脳血管障害の評価(ブルンストローム回復ステージ)	22. 高次脳機能評価	8. 脳血管障害の評価(SIAS)	23. 高次脳機能評価	9. カナダ作業遂行測定(COPM)	24. ADL評価	10. 運動及びプロセス技能評価(AMPS)	25. ADL評価	11. COGNISTAT認知機能検査	26. ADL評価	12. 職業レディネス・テスト	27. ADL評価	13. 職業能力適性検査(GATB)	28. ADL評価	14. 高齢期機能評価	29. ADL評価	15. 生活行為向上マネジメント(MTDLP)	30. 国試対策
1. オリエンテーション	16. 高次脳機能評価																																
2. 意識・バイタルチェック等の評価	17. 高次脳機能評価																																
3. 反射検査	18. 高次脳機能評価																																
4. 脳神経検査	19. 高次脳機能評価																																
5. 上肢機能検査(STEF)	20. 高次脳機能評価																																
6. 上肢機能検査(MFT)	21. 高次脳機能評価																																
7. 脳血管障害の評価(ブルンストローム回復ステージ)	22. 高次脳機能評価																																
8. 脳血管障害の評価(SIAS)	23. 高次脳機能評価																																
9. カナダ作業遂行測定(COPM)	24. ADL評価																																
10. 運動及びプロセス技能評価(AMPS)	25. ADL評価																																
11. COGNISTAT認知機能検査	26. ADL評価																																
12. 職業レディネス・テスト	27. ADL評価																																
13. 職業能力適性検査(GATB)	28. ADL評価																																
14. 高齢期機能評価	29. ADL評価																																
15. 生活行為向上マネジメント(MTDLP)	30. 国試対策																																
教科書																																	
参考書	適宜紹介																																
評価方法	出席状況、授業態度、試験																																
備考																																	